

<参考文献>

(社)土木学会(1979) 土木材料実験指導書(基礎
・応用編)
奥谷禎一(1983) 兵庫県大百科事典 神戸新聞出

版センター
福島義一(1969) ガロアムシに関する研究(1)(2)
昆虫と自然

表1 生息地の含水率試験結果

| 生息地名 | 試料採集年月日 | 含水率試験% | 備考 |
|-----------|------------|--------|---------|
| 佐用町南光町船越山 | 1997年1月12日 | 49.9 | 標高約500m |
| 揖保郡新宮町牧 | 1997年1月4日 | 42.2 | 標高約250m |

表2 有機不純物試験の方法

- (1) 4分法または試料分取器によって代表的試料を約500gとる。
- (2) 試料を容量約400ccの無色ガラスびんに125ccの目盛まで入れる。
- (3) これに3%の水酸化ナトリウム溶液を200ccの目盛まで加える。
- (4) びんにせんをしてよくふりまぜ、24時間静置する。

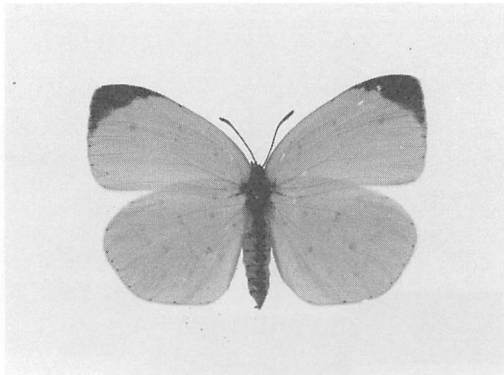
※色の変化(5段階)

1. 無色ないし淡黄色
2. 濃黄色
3. 赤黄色
4. 淡赤褐色
5. 暗赤褐色

キチョウの異常個体一例

相坂 耕作

少し古い記録となるが、筆者が20年ほど前に買い求めていた鉢植えの一才ネムノキを地に降ろし庭木としていたところ、数年前キチョウが産卵していたので寄生されるのも可哀想と思い、飼育し



写真：キチョウの腹部異常個体

ていたところその中の一頭が羽化したときに異常に腹部が太くなっているのを発見、標本とした。乾燥すると腹部もスマートになると思ったが、そのまま腹部が太いため、ある機会に白水博士におたずねしたところ、飼育をしているところのように腹部が膨大したものや腹部がスカスカのものが時に出てくるとのことで、病的個体と考えている。自然状態(野外)では見たことはないが、こういう個体は生きていけないのだと述べています。

まさに腹部が膨大した個体は大変グロテスクである。とり急ぎ写真を見て種々解説いただいた白水隆博士に厚く御礼申し上げます。